

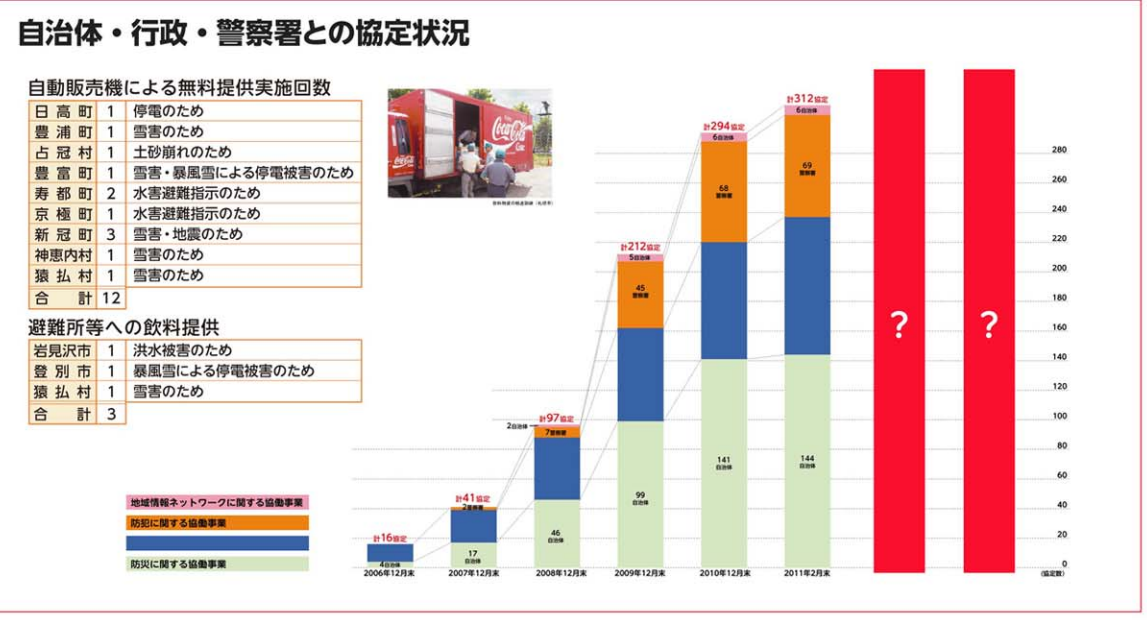
地域と地元企業が連携した 除雪ボランティア活動の取組み ～ チーム北海道プロジェクト ～

上島信一（北海道コカ・コーラボトリング株式会社）



01 目的と背景

- ★ 道産子企業として地域に役立ち、関わる。
 - ★ 環境にやさしい、住みやすく、賑わいのあるまちづくりを応援する。
 - ★ 北海道内ネットワークを生かした取組へ
- 北海道との災害協力協定締結（2007年）
 - 179市町村との防災協定の締結（2007年～）
 - まちづくりパートナー協定の締結（札幌市・旭川市・函館市・釧路市・帯広市）
- 冬期間の取組としての「除雪ボランティア」



02 三笠地区雪はね隊 (2012～)

- 地域社会福祉協議会等、関係機関と調整をはかり、**三笠市弥生地区**において除雪支援の実施を決定。
- 2012年の空知・石狩北部記録的豪雪
 - 当該エリアは過疎・高齢化がすすむ地域（三笠市の高齢化率は43%と全道で2番目）
 - 特別豪雪地域に指定
 - 自衛隊災害派遣の実施
-
-
- 「自分たちと地域との関わり」を意識し、複数の企業で活動を行うこととした。
 - CSR研究会での交流から企業参加を広げた。
- 当社グループ5社・北海道銀行・日糧パン・HBCの8社による企業連携が実現した。

参加人数…39名
除雪箇所…7戸
除雪状況…手作業による除排雪・積み下ろし、2.5トントラック使用（当社資材）



三笠地区雪はね隊（企業連携のはじまり。2012年、8社）



活動状況。雪かき作業後は老人福祉センターで地元産米などの食事をいただいた。

03 新たな連携へ

- 現状では、個人で対応すべきとされる家屋周辺の除排雪について、地域内での問題軽減には限界がある。
 - <企業の側からも…>
 - 企業人としてコミュニケーションを通じた「地域への関わり」「安心できる地域づくり」への実感・構築につながる貴重な場となっている。
- 「元気のある地域」「住みやすい地域づくり」への取組は、地域に関わる全ての企業・団体が関わった「異分野広域型連携」が理想。
 - 「当事者意識をもち地域に関わることを大切に、小さな企業連携から取り組んでいきたいと考えている。



活動は継続中。CSR研究会を通じて集まったメンバー（2013年三笠、8社）この後、倶知安町でも連携。